

2022 年夏季語学留学/ワイカト大学 帰国生アンケート

※注意※ ここで紹介されているアンケート回答は**全て個人の主観によるもの**であり、あくまで『参考情報』としてみなさんに開示しています。**正しい情報とは限りません**ので、その点について了承した上で留学準備に活用してください。

1. 授業について

授業の形態や進め方はどんなものでしたか。

教科書に沿って進んで行きました。教科書にリーディングやスピーキング、ライティング、リスニング全てが含まれてるので全部均等に学べます。

最初に昨日何があったか、朝ごはんは何だったかなど軽く話したあと、教科書に沿って進めながら、たまに英語を使ったゲームもしたりしました。先生はもちろん常に英語、そして会話をする場面が多かったです。

授業の形態はレベルごとに2つのクラスに分かれていて、1つのクラスは主に writing を中心とした授業でもう1つのクラスは writing, speaking, listening, grammar をまんべんなく学ぶクラスでした。クラスの席の形はコの字になっていて全員が発言しやすいものでした。また、グループワークも1日に2~3回はあり、英語を話す機会がいつもより断然多かったです。

スピーキングがメインで、教科書に沿って文法問題を解いたり、先生が考えたゲームをししたりした。

週末の予定やホームステイについて英語で友達と話をする。教科書の問題を解く。グループワーク、ゲーム。

Speaking メインで Reading と Writing も行いました。授業スピードは私たちの理解度に合わせて早くしたり遅くしたりしてくれました。

クラス人数、日本人と留学生比率、留学生の出身国などについて教えてください。

全て日本人の14人クラスでした。

日本人15人、中国人留学生2人

クラス人数は15人で内2人はワーキングホリデーできている中国人の方たちでした。

私のクラスの人数は14人で、日本人が12人、中国人留学生が2人

最初の2週間は8人で全員日本人でした。先生はニュージーランドの人です。2週間後群馬から6人追加できました。

クラスの雰囲気はどんなものでしたか。

積極的に発言するスタイルです。

雰囲気は、いつも会話でいっぱい楽しかったです。シリアスな雰囲気になることはほとんどありません。学生が15人しかいないので、先生が一人一人と向き合いやすく、グループワークでもそれぞれのグループにどんな問題があるのか、解決するまで寄り添ってくれました。

日本で授業を受けていた時は、教師以外には日本人しかいなかったのがグループワークがあっても日本語ばかり話していました。留学先のクラスでは日本人だけではなかったのでグループワークの大半を英語で話しました。また少数のクラスだったので発言しやすいと感じました。

みんな仲良く、楽しく学ぼう、頑張ろうという雰囲気だった。間違えても先生が優しく教えてくれるので、発言しやすかった。

グループワークが多く楽しかった。

積極的に発言していこうという雰囲気でした。先生がした質問の意味が分からないときや単語の意味が分からないとき正直に言えばしっかり理解するまで教えてくれました。逆に質問されたのに黙ることが多いと怒られることがありました。

授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは何ですか。

タイタニックの勉強をしました。映画を見ると言う宿題やタイタニックの歴史を学びました。

知らない単語や表現をすぐにメモをして先生に意味を英語で説明してもらったこと。

スポーツのトピックがとても印象に残っています。ニュージーランドの有名なスポーツをたくさん知りました。また、自分がよく知っているスポーツのルールや伝統などを英語で説明するのはとても難しかったです。

オリンピックの歴史について

日本とニュージーランドのルーティーンの違いについて。

Culture のトピックが私は印象に残っています。ニュージーランドのマオリ文化を深く知ることができ男子は授業でハカという踊りを踊りました。身をもってマオリ文化を経験できたのでとても良かったです。

授業を受けるにあたって工夫していたこと、努力していたことはなんですか。

間違ふことを恐れず気にせず発言しました。

私だけでなくクラスでやっていたことですが、授業中に教師が話しているときに知らない単語が出てきたら話を止めてその単語の意味とスペルを教えてくださいました。

分からないことは何でも先生に聞いたり、発言するように心がけた。

日本人の学生とも英語で話すこと。

早寝早起きをして授業に 100%集中できる環境を作りました。そして先生からの質問に全部自分が答えるような意気込みで授業に参加していました。そして間違ってもいいからとあえて発言しようとしていました。

2. 滞在先・自由時間の過ごし方について

ルームメイトはいましたか。	ルームメイトはどこの国の人でしたか。	通学手段	通学時間
0人		バス	45-60分
0人		バス	0-15分
0人		バス	45-60分
0人		バス	60-75分
0人		バス	30-45分
0人		バス	30-45分

部屋に用意してあったものは何ですか。	自分で用意したものは何ですか。
ドライヤー、バスタオル、ヒーター、扇風機、ハンガー	バスタオル
ひとり暮らしの生活に必要なもの全て、暖房、ドライヤー、湯たんぽ、充電コード、ブランケット、室内用の靴は無かった。	洗面用具
ドライヤー、ハンガー、バスタオル、水筒	シャンプーやボディソープなどの風呂の用品、アイロン
勉強机、鏡、クローゼット、物置棚2つ、ベッド	シャンプートリートメントなどのお風呂グッズ、服、スリッパ、水筒
ベッド、机、ウォーターボトル、家の鍵、ハンガー、洗濯ネット	お風呂セット
ベッド、勉強机、ヒーター、自分用のシャワー、トイレです。	コロコロ、変換プラグ、ゴミ袋

ホームステイ生活をする上で、日本と違って戸惑ったこと、驚いたこと。

生活が早い(起きる時間、ご飯の時間、寝てる時間)から向こうの人に合わせるのに最初は大変でした。子供の食べ物の扱い方に驚きました。

土足だと思っていたら、半土足で、室内用の靴を別で履いていました。分厚めのモコモコソックスを持っていったのでそれを室内用にして捨ててきました。

ニュージーランドでは頻繁に親せきで集まることに驚きました。私の家庭はもともとホストマザー1人だったのですがホストマザーの子供、孫が集まり5、6人で家にいることが多かったです。ホストマザー以外は、話すのが速くて、初めて会ったときは聞き取るのがとても難しかったです。

日本よりもお湯を大切にするので、シャワーする時間が10分と限られていたこと。洗面台などの水場は常に綺麗な状態で保っていたこと。ランチの量が少なくてびっくりしたこと。

靴で家に入ることは最初驚きました。洗濯も一週間に一回ぐらいしかしません。

ホームステイを快適に過ごすためのアドバイスをお願いします。

ちゃんと自分一人の時間も取ることも大事です。

洗面用具は余すことなく全て持っていった方がいいです。現地で購入すると高いし、質もあまり良くないです。あとは夕食の時間や何時に寝るのかなど、日本より早い時間に行くことが多いので、早めに聞く。何か分からないことがあったらちゃんと聞いて、書いてもらう。

ホストファミリーに苦手な食べ物を伝えておくことは大切だと思います。私は会って2日目の夕食で好きなものや場所、好きなことなどをホストマザーと質問しあい、その中で好きなものだけでなく苦手なことやものを伝えました。ホストマザーも先に教えてくれてありがとうと言っていたので良かったと思います。あとは、ホストファミリーとたくさん話すことだと思います。

何でも疑問に思ったことや、不満に思ったことは溜め込まずにホストファミリーに相談することが大切

ホストファミリーとの時間を多く作る。

寝るとき以外はほぼすべての時間リビングで過ごしホストファミリーとコミュニケーションをとっていました。宿題もわからないとこがあれば手伝ってくれるのでとても助かりました。そしてYes、Noははっきり答えることが大事だと思います。

パソコンは持参しましたか。	携帯電話	インターネットは部屋から接続可能でしたか。	その際に費用はかかりましたか。
はい	日本からSIMカードを持参	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	日本からポケットWi-Fiを持参	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	日本からSIMカードを持参	不明	
はい	日本からSIMカードを持参	LANケーブルで可能	はい
はい	日本からSIMカードを持参	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	日本からSIMカードを持参	ワイヤレスで可能	いいえ

大学主催のプログラム/イベント/ボランティア/サークルなど。	学内/学校近辺でよく利用した施設やお店など
イングリッシュクラブに行って現地の学生と関わることができました。	ダックアイランドと言うアイス屋さんやセンタープレイスによく行っていました。
毎週木曜日に English club がありワイカト大学に通っている学生がボランティアで留学生の校舎にきてくれて、一時間ほどニュージーランドのことを教えてもらったり、質問しあったりしました。	学内のカフェとコンビニをよく利用しました。
週に一回開催されるイングリッシュクラブに参加した。	学内のフードコート、トランスポートセンター

毎週木曜日に授業後、English Club というワイカト大学の本学生との交流ができるイベントがあります。そこで友達を作ることができニュージーランドについてもっと知ることが出来ます。そしてさらに日常で使われている英語はどのようなものなのか知ることが出来ます。

Center Place という場所が飲食店や服屋、映画館などいろいろな場所があるので何回も行きました。学校からバスで 10 分ぐらいで行けるので手軽に行くことが出来ます。

3. 留学前準備について

留学前に取り組んだ準備

留学先についてよく調べること、お土産は喜んでくれそうな日本の文化的なものを選ぶ。

日常会話で使うフレーズを覚えていきました。

日本の歴史などについて大体調べた。

事前にホストファミリーとメールでやり取り。

日常会話のフレーズを勉強していました。洋画と洋楽を毎日見たり聞いたりすることで耳を英語に慣らしていました。そしてニュージーランドの文化についても学んでいきました。

留学前にしておけばよかったと思う準備

ニュージーランドのことをもっと調べておけば良かったと思います。

英単語の勉強

もっとボキャブラリーを増やしておくべきだと思います。あとは接続詞をもっと使えるようにしておけば良かったです。かなり会話や作文を作るときに調べることが出来ないのです前に使えるようにしておけばもっと話しくなります。

日本から持って行って役に立ったもの、または喜ばれたもの

ホットアイマスク

3歳の双子向けに浴衣と扇子を持って行った。

日本のインスタントの味噌汁やラーメンはとても喜ばれました。

ペットを飼っている家庭の場合はコロコロ、抹茶のキットカット

箸

抹茶味のキットカット、コロコロ、家に猫がいたので毛を取るときに役に立ちました。水筒、ペットボトルの水がかなり高いが水をくむ場所がたくさんあるので持って行って良かったです。ポシェットみたいな小さいバッグ。

日本から持っていく必要のなかったもの

ズボン 4本 2か3で足りる

バスタオルやシャンプー、リンスは必要なかったです。タオルは用意されている家庭が多く、シャンプーやリンスは一か月用のものがショッピングセンターにあったので向こうで買えばよいと思います。

靴は一足で十分、服は少なくとも足りる(足りなくなったら買ったらいい)、サングラス

日本から持参すればよかったと思ったもの

室内用の靴

延長コード

すぐ履くことができるスリッパ

日本の食べ物

AMEX のクレジットカード、ニュージーランドではほぼ使うことが出来ませ

レンジでチンできるお米が恋しくなりました。あとはホストファミリーに日本

んでした。VISA と Master が主流です。	のお米を味わってもらえます。
---------------------------	----------------

4. 留学費用について

お金をどのように準備しましたか。	日本円でいくぐらい準備しましたか。
クレジットカードと現金	現金四万円とプラスで五千円分両替しました。
クレジットカード	クレジットカード上限 25 万円、現金 2 万円 現金はほとんど必要ない。クレジットカードは VISA がオススメ。持っていない人はよく調べて必ず海外対応のものを選ぶ。
現金、クレジットカード1枚、クレジットとしても使えるデビットカード1枚を用意しました。	現金5万(内2万少しは PCR 検査で必用でした)、クレジットカード上限10万、デビットカード5万
クレジットカード、ニュージーランドドル 2 万円、日本円 3 万円	クレジットカード、現金 3 万円
現金、クレカ 2 枚	現金 8 万円、クレカ上限 10 万円
現金で 4 万円分とクレジットカード 2 枚	

現地で支払った住居費と食費を教えてください。
食費は週に日本円で 3000 円程度かそれ以上(←自販機でお菓子を買ったりカフェを利用したりするとかかる。) 基本的に食事はホストファミリーが準備してくれていたの、それ以上に食べたかったら日本と同じく追加費用が発生。
食費5~6万ほど使いました。
食事 2 万円くらい

テキスト代と通学費はそれぞれいくぐらいかかりましたか。
通学費は片道 50 セントでした。
通学費は一か月で三千元ほどでした。
交通費 30 ドル(学割で)
3000 円

その他旅行や買い物など個人的費用は何にいくぐらいかかりましたか。
五万未満だと思います。
現地のお土産、ニュージーランド発のブランドの服などの購入で 4 万円程度
5~6万かかりました。
買い物、お土産で 3 万円くらい
外食が高く一回 2000 円以上
買い物と飲食店に多くいって 10 万円近くかかりました。

5. 学習面について

語学力・コミュニケーション能力の自己分析
苦手な文法の使い方がわかりました。
100 点中 60 点 気合いは 90 点
コミュニケーション能力は圧倒的に伸びました。家に帰っても英語を話さないと伝わらず、言いたいことを自分が持っているボキャブラリーだけで伝えな いといけない状況が特に私を成長させてくれました。
自信を持って話すことができるようになった。
コミュカが低くても、ホストファミリーは日本語が通じないから、積極的に英語で話した。
確実に語学力とコミュニケーション能力は向上しました。積極的に授業で発言したことによって意味が通る文と通らない文を判断でき、英語を話す自身 もつきました。そして分からない単語があればその都度聞き説明してもらうことによって理解度が深まりました。

留学前の目標とその達成度
100 点 ホストファミリーと話して思い出を作る。
留学前の目標はホストファミリーとたくさんコミュニケーションをとることです。結果として満足度は高いですが、もっとたくさんの単語を知っていれば具 体的に伝えられるのと思うことが多かったです。
ホストファミリーと楽しく会話する目標と、現地のバスを乗りこなす目標も達成した。
現地の友達を作ること 沢山できた。
留学前の目標は積極的に発言したり話しかけること。そしてニュージーランドの文化を知ることでした。すべて予想以上に達成できたと思います。周り の人たちの環境がとても良かったので挑戦しやすい環境でした。

留学を通しての成長ポイント
文法
簡単な英語でもひねり出して伝えようとする力。分からなくて困っていても、自分から聞かない限りは解決しない。周りにはきちんと助けてくれる。
留学前は授業中に教師の言っていることが聞き取れないことがしばしばあったのですが、留学中にホストファミリーや教師の話していることがだんだん と雰囲気でも聞き取れるようになったところです。また自分の英語力を気にせず、自分からたくさんコミュニケーションをとったところです。リスニング力、コ ミュニケーション力はとても身に付きました。
自信を持って話すことができるようになった。
知らない地で 1 人で行動する力。
スピーキング能力は確実に伸びました。質問に対して Yes, No だけではなくなぜそう思うのかも付け加えて話すことが出来るようになりました。失敗する ことを恐れなくなりました。

留学前/留学中/留学後の語学学習に対するモチベーションの変化
変化はなかったです。
とても向上した。
自分がどれだけ話せて、どれだけ聞き取れてなどの自分の英語のレベルがよく知れたので、留学目よりも語学学習に対するモチベーションは高まりま した。
留学前に比べて、留学中、留学後のモチベーションはかなり上がったと言える。
常に前向き

留学前のモチベーションは、コロナもあり留学に行ける期間が2年間奪われたのでとても高かったです。留学中も周りのすべてが私にとって新鮮であったのでモチベーションは高いままでした。留学中に私の英語はまだまだだと感じたので帰ってから頑張ろうという気持ちになりさらにモチベーションも上がりました。そしてニュージーランドの友達もできホストファミリーとも、とても仲良くなったのでまた行きたいという気持ちになりました。

留学中 100%力を振り絞った瞬間

日本人と群れるのが嫌で一人行動をしたこと。

週末何があったかのライティング、テスト、中国人留学生と英語と中国語で会話、友達を助けること。

留学初日、夜遅くにホストファミリーと会い、そのまま次の日の朝バスに乗って学校に向かったのが一番大変でした。バスの乗り方も最寄りのバス停もあやふやなまま学校まで行くのはとても心配でした。

ホストファミリーと話す時

知らない乗り場から初めて1人でバスに乗って帰った時。

授業中にみんなの前で踊ったハカと最後のプレゼンテーションです。とても緊張しましたが、中途半端に行いたくなかったので全力で行いました。そしてホストファミリーに向けた最後の手紙を読むときはとても力を振り絞りました。

留学先大学の良かった点

カフェがいっぱいあってよかったです。インド料理や日本料理もありおいしかったです

ニュージーランドのハミルトンは滞在先として95点。程よく田舎で程よく栄えているし、オークランドまで行く手段もある。大学はとても広くて綺麗で、先生も良くてカフェも良くて最高。

教員やサポートしてくれていたスタッフの方たちがとても親切で、陽気な方たちで学校をいつも明るい雰囲気してくれました。すれ違う時や昼食の時に「授業はどうだ」、「体調は良好か」など声をかけてくれて、気にかけてくれていることがわかり安心できました。

授業中に沢山発言出来ること、フードコートやウォーターサーバー、電子レンジや冷蔵庫が設備されていたこと。図書館やジム、コンビニ、郵便局や薬局などが充実していたこと。

イングリッシュクラブが楽しかった。

日本人の先生、ミカさんとヨウコさんがいたので困ったときに頼ることが出来とても良かったです。先生全員とてもフレンドリーで文化についてもたくさん教えてくれてとても良かったです。校舎もきれいでレストランやカフェもありとても落ち着くことが出来る環境でした。また行きたいです。